



第46回例会

平成19年6月13日(水)  
サンパレス福島

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 ロータリーソング 奉仕の理想
- 3 四つのテスト
- 4 来訪者の紹介と会長挨拶  
福島東RC 近野輝雄 様  
福島中央RC 芳賀 裕 様、新妻和雄 様
- 5 浅倉俊一ガバナー補佐スピーチ
- 6 野地利雄地区幹事スピーチ
- 7 高橋勇雄会員本社移転の記念品贈呈
- 8 GSE海外研修報告 丹治史行 様
- 9 各委員会報告
- 10 閉会点鐘

会長挨拶

齋藤 ミヨ会長



皆さんこんにちは。  
本日は浅倉ガバナー補佐、野地地区幹事、GSE海外研修生丹治史行さんにお越しいただき誠にありがとうございました。  
当会員でもある浅倉地区ガバナー補佐には大変大変お忙しく、

いくつ身があっても足りない時期に活躍いただき、まさにロータリアンの精神と奉仕の心、そして今年度テーマ“率先しよう”を実践されたことに感謝申し上げます。また野地地区幹事ほんとうに御苦労様でした。

私もここまでこれましたのも地区会員、クラブ会員の皆様のお力添えと感謝の念でいっぱいでございます。二週に渡り活動報告をいただき委員長さん、副委員長さんにはホッと肩の荷が下りた一時と思います。

6月のロータリー月間は、ロータリーの趣味、職業別親睦活動月間となっております、国際奉仕の一部門です。これは、クラブ、地区、又は国を越えての交流を楽しむことが目的とされております。その活動の主なものとして、ロータリーの歴史と伝統を学ぶ会、無線で国と国との交流の会、ロータリー切手の会、ゴルフ、野球、旅行等の趣味の会ですが、職業別親睦活動グループには、会社、法律、旅行業のグループを通しての親睦の会がございます。この事につきましては、ロータリーの友6月号に特集で“世界中に仲間を作ろう”“世界中に広がるネットワーク”と掲載されておりますので是非ご覧いただきたいと思っております。

本日は、GSE海外研修生丹治史行さんの研修発表がございました、丹治さんにとってこの度の体験は一生の思い出として心に深く刻まれた事と思っております。では、楽しみにお聞きしたいと思います。

情報ステーション

今週の格言

純真  
如何に見えるかよりも  
如何にあるかを心配する  
如何に見せるかよりも  
如何に歩むかに心する  
目の前のボロを隠すよりも  
溢れる真実で相手を包む  
by 安積得也

計報

当クラブの根本郁男会員(享年79歳)が去る6月12日午後2時5分ご逝去されました。  
謹んで故人のご冥福をお祈りいたします。

黙 禱



ゲストスピーチ・地区ガバナー補佐浅倉俊一様



お陰様ですべての行事を終えることが出来ました事に心から感謝申し上げます。

各クラブには歴史と伝統があり、それぞれ特徴があり、その特徴こそがクラブの魅力であり、これからも特徴を生かしながらクラブの発展に寄与していただきますようお願いいたします。

ロータリーのあり方も時代が変われば進化していくのは当然の流れであり、その為の論議はすべきであり、論議の先に未来があります。また、互いに切磋琢磨できる関係が自分の職業の発展そしてロータリーの発展に繋がるものと確信いたします。1年間ガバナー補佐として過ごさせていただきました、ロータリアンの寛容に感謝申し上げます。

ゲストスピーチ 地区幹事 野地利雄 様



浅倉ガバナー補佐の下で、一年間、大変有意義に勉強させていただきました。

「たかがロータリー、されどロータリー」という言葉を先輩より教えて頂き、ロータリーの大きさを感ずることができました。これらの体験を生かし、これからのロータリー奉仕活動に活かしていきたいと思っております。

GSE海外研修報告 丹治史行 様



GSEメンバーとして、多くの場所に連れて行って頂き、沢山の人の出会いと別れ、他には決して無いような、内容の濃い経験をさせていただきました。

特に感じたことは、人々がとても親切だったこと、そして国や州、宗教を思う気持ちが非常に強く、日本人として考えさせられるものがありました。

この貴重な経験を、今後の生活に生かし、地域やロータリークラブに恩返しをしていきたいと思っております。

研修場所：国際ロータリークラブ 5840地区  
テキサス州  
日程：4月22～5月20日



地区大会での一コマ



教会で神父さんと



例会にて



地区大会にてプレゼン

今月・来月のプログラム

- 7月4日(水) クラブ協議会
- 7月5日(木) 新年度会長・幹事報道関係表敬訪問
- 7月11日(水) 創業記念・職業奉仕発表
- 7月18日(水) 都通彦東北第一区ガバナー補佐クラブ訪問

編集担当 松崎弘昭